



製造業の業務総合支援

大興、設計—保守まで一括

大興（広島市中区、浜本英亮社長、082・241・7088）は、設計から製造、販売、顧客用のサービスまでをパッケージ化した製造業向け業務支援サービスの本格受注に3月から乗り出す。CAD設計やマニュアルの制作と多言語翻訳、システム構築、コールセンターなどの個々のサービスを連携。一つのプラットフォーム（基盤）として提供

し、顧客の業務効率向上に役立てる。1年後に新サービスで年間売上高1億円を目指す。新サービスの名称は「ダイコー・デジタル・トランスフォーメーション (DDX) サービス」。顧客企業の開発・設計、購買・製品、販売・サービスの各部門で役に立つ業務支援サービスを組み合わせ、プラットフォームを通じて集まった製品ユーザーの声を

フィードバックでき、広く顧客ニーズを取り込む。

大興は国内外にグループ企業10社を抱える。CAD設計・コンピュター利用解析 (CAE) 解析やマニュアル制作と翻訳、リアルデバイスを活用した保守支援システムの開発などを行う。各社は個別でサービスを提供していたが、パッケージ化することで幅

広く顧客ニーズを取り込む。

DDXは独自開発のソフト「DDXコア1」を活用し、CADデータをXVZ形式に変換するなどデータを軽量化できる。さらに「同2」と呼ぶソフトを通じて、同1で変換したデータや動画・音声などのデータをマニュアルや顧客対応の研修資料などに盛り込め

新サービスは「エンジニア」と製造業がつながる良いチャンスになる」（和田敏三副会長）。業務改善により、他業種に比べ遅れ気味のエンジニアの働き方改革にも役立つという。

今後は海外展開や自社ブランドを持つ中堅の製造業を中心に提案していく。